

平成29年度 基本施策評価シート（部別）

基本目標	経営的視点にたった行財政運営の推進
基本方針	経営的視点の行財政運営がなされるまち
基本施策名	健全な自治体経営の推進

	所属	職名	氏名
作成者	契約検査課	課長	竹内 幾久夫
評価者	総務部	部長	堀内 猛志

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	130万円以上の工事及び業務委託と、50万円以上の物品購入について、指定された検査職員が関係書類に基づき検査を行う。300万円以上の工事については、工事成績評定を行っている。
基本方針 (目指すべき方向性)	計画行政に徹するとともに、組織機構の見直しや行政改革により、予算編成・予算執行の適正化を図り、持続可能な健全財政の運営を目指します。 また、公平な課税、的確な課税客体の把握とともに、広報活動をより一層充実させることにより、収納率（収入率）を向上します。さらに、広域的な地域づくりを進めるため、より効率的な広域連携を進めていきます。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H27	H28	H29	達成率	進捗状況	所管課	
税収納率（現年分）	%		98.46	98.5	99.1	99.2	99.3	100.6	順調	収納課
実質公債費比率（3年平均）	%		12.9	12	10.5	9.6	9.4	100	順調	財政課

施策指標の進捗状況と分析	
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位：円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況					重点化		
				H27	H28	H29	H30	H31	合計	事業区分	新/継	終期	方向性		正規職員数	
1	0102025	検査管理費	検査係		169,372	164,776				334,148	定型業務			現状のまま事業を実施することが適当	2.1	
合計					169,372	164,776				334,148						

事務事業量とコスト (費用対効果)の分析	技術系市職員で組織する安曇野市技術審査会を開催し、市発注建設工事に係る技術的な課題について調査検討した。工事事務に従事する技術系職員のスキルアップを図ると共に、工事請負業者の育成と、より質の高い工事施工を求める事を目的に、技術審査会主催の研修会を開催した。
重点化事務事業の考え方	
縮減・廃止事務事業の考え方	
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出含)	年度末に各種検査が集中し、事務処理が煩雑となるため、工事等完了時期の平準化が必要である。このことから、技術系職員研修会等の機会を捉え、建設事業の早期発注と、事業完了日の年度末集中の回避等を引き続き依頼していく。